令和６年度地域の障害児に対する支援体制の状況
及び中核機能としての体制の確保に関する取組

児童発達支援センター　リトルペガサス（中核機能強化加算（Ⅰ））

１．事業

事業所名	住所	主な事業
児童発達支援センター　リトルペガサス	千葉県柏市小青田 1-11-3	児童発達支援センター 保育所等訪問支援事業
リトルペガサス地域支援室	千葉県柏市東 2-1-37	地域障害児支援体制強化事業 TeToTe 発達相談窓口 柏市障害児等療育支援事業 千葉県障害児等療育支援事業 柏市特別な支援を要する児判定調査事業 指定障害児相談支援事業 指定特定相談支援事業

２．職員（令和７年３月 31 日現在）重複を含む。

職　種	員数	常　勤		非常勤	
		専従	兼務	専従	兼務
管理者	2 名		2		
児童発達支援管理責任者	1 名	1			
保育士	11 名	7	1	1	2
公認心理師	4 名	1	1	2	
言語聴覚士	2 名		1	1	
作業療法士	2 名	1		1	
理学療法士	1 名				1
音楽療法士	2 名			1	1
精神保健福祉士	1 名	1			
専門職を除く児童指導員	1 名		1		
指導員	2 名			1	1
相談支援専門員	6 名	2	2	2	
保育所等の巡回相談員	7 名			7	
医　師	1 名				1
看護師	1 名				1
事務員	3 名	2	1		

３．４つの中核機能の取組

（１）幅広い高度な専門性に基づく発達支援・家族支援機能

幅広い高度な専門性に基づく発達支援・家族支援機能を発揮するために、職員を配置し（２に前述）乳幼児期から段階的に必要なアプローチを行う視点、障がいの有無に関わらず子どもの育ちに大切な「遊び」を通じて支援する視点、子育て支援という観点を持って対応した。

さらには子どもと家族の困り感に対しトータルに子どもと家族を支えていく視点を基にして人材の養成や環境の整備を図るとともに、柏市や自法人の基幹相談支援センターと連携しながら、関係機関に対して障害児支援に関わる助言・指導を実施するための研修や自立支援協議会や柏市内の公設の児童発達支援センターとのネットワークの構築等に取り組んだ。

１）児童発達支援センター　リトルペガサスの利用

	契約者数	総利用人数
児童発達支援	87 人	4,710 人

２）小学校への保育所等訪問支援（家族支援）

	契約者数	訪問回数
新１年生 （引継ぎ目的を含む）	22 人	47 回
2 年生以上	5 人	15 回

（注）保育所・幼稚園・こども園を含む保育所等訪問支援は、（３）で後述した。

３）障害児支援利用計画の作成

	契約者数
障害児支援利用計画	21 人

４）柏市における障害児、保護者、及び障害児通所支援事業所の実態調査

① 2000 年以降の障害児支援の経緯の調査
② 柏市内の障害児通所事業所アンケート調査
③ 柏市障害者計画策定のための追加調査（児童）結果報告を年齢別（学校別）にクロス解析
④ 青葉会の児童発達支援及び放課後等デイサービス事業のご家族アンケート調査

５）職員の研修参加

日時	主催	研修内容（タイトル）
令和６年度 （年間）	社会福祉法人 青葉会	年間を通じた新規採用職員研修 1. 経営理念、福祉と支援、障害者虐待、個人情報保護等 2. 記録の重要性と工夫、危機対応と虐待防止 3.危機予知トレーニング・ヒヤリハット 4.ソーシャルワークの基本、アセスメントと支援デザイン 5.サービス利用計画と個別支援計画、意思決定支援 6.OJT 研修 7.自閉症サポートセンター研究会にて研究発表
令和６年６月 21 日	柏市発達障害者支援協議会	発達障害サポーター研修会 「基礎講座：発達障害のある方とのかかわり方－困った行動への対応」 講師：田熊　立氏（千葉県発達障害者支援センターCAS）
令和６年７月 30 日	柏市障害福祉課	令和６年度第１回柏市障害者権利擁護研修会 「障害者虐待防止法－障害者の権利擁護について」 講師：荻原　得誉氏（東葛総合法律事務所　弁護士）
令和６年８月 6 日	柏市こども相談センター 学齢児担当	学齢児の発達支援勉強会（夏の勉強会） 「小中学校における合理的配慮の申し出の手続きについて」講師：北村　大明氏（柏市こども相談センター）
令和６年９月 6 日	柏市発達障害者支援協議会	発達障害サポーター研修会 「学校と連携した発達支援の在り方－学校巡回相談の事例から」講師：北村　大明氏（柏市こども相談センター）
令和６年９月 10 日・17 日・ 24 日	千葉県発達障害者支援センター東葛飾	令和６年度自閉症連続基礎講座 自閉症の特徴、学習スタイル、強みをいかした支援、視覚的構造化等について
令和６年９月 20 日	千葉県発達障害者支援センター	家族支援体制整備に関する研修会 第一部：「子どものトラウマの理解とケア―発達特性とアタッチメントに着目して」 　講師：八木　淳子氏（岩手医科大学医学部　教授） 第二部：「発達障害における家族支援プログラムの紹介」 　講師：田熊　立氏（千葉県発達障害者支援センター）
令和６年 10 月 29 日から３回	社会福祉法人 青葉会	令和６年度千葉県行動援護従業者養成研修
令和６年 11 月 20 日	柏市健康医療部保健予防課	令和６年度柏市精神保健福祉支援者研修会（合同研修会） 「精神症状の理解と対応」 講師：森内　加奈恵氏（千葉大学医学部付属病院精神神経科　看護師長）
令和６年 11 月 29 日	柏市障害福祉課　権利擁護担当	令和６年度第２回柏市障害者権利擁護研修会 「障害のある方々への合理的配慮の実践と理解－アクセシブル社会を考える」 講師：星川　安之氏（公益財団法人共用品推進機構　事務局長兼専務理事）

令和７年１月17日	柏市自立支援協議会　相談支援部会	令和６年度　第４回相談支援連絡会（研修会） 「医療観察制度について」 講師： 千葉保護観察所　統括社会復帰調整官　大嶋　昭太郎氏 社会復帰調整官　長谷　小耶加氏 医療法人社団透光会 地域生活支援センター　サザンカの里 相談支援専門員　鳥沢　晋司氏
令和７年１月23日	柏市児童発達支援事業所連絡会	令和６年度第２回柏市児童発達支援事業所連絡会研修会 「子供の支援に活かす応用行動分析学」 講師：北村　大明氏（柏市こども相談センター）
令和７年２月14日	柏市こども相談センター学齢児担当	学齢児の発達支援勉強会（冬の勉強会） 「地域生活支援拠点の紹介と事例から学ぶ学齢児の発達支援」 講師：地域生活支援拠点職員及び北村　大明氏（柏市こども相談センター）
令和７年３月11日	柏市障害福祉課	令和６年度第３回柏市障害者権利擁護研修会 「カスタマーハラスメントへの対応について」 講師：萩原　得誉氏　（東葛総合法律事務所　弁護士）
令和６年５月から５回	地域生活相談センター　シャル	「グループスーパービジョン（以下、GSV）を体験しよう」 内容：GSVの実施方法や進行の仕方について GSVを用いた事例検討、グループ討議 柏市北部地域での繋がり作り　等

（２）地域の障害児支援事業所に対するスーパーバイズ・コンサルテーション機能

地域の障害児支援事業所の巡回等に関わる支援を統括する地域支援コーディネーターとしてリトルペガサス地域支援室長、その代理としてこどもコーディネーターを配置した。コーディネーターは、障害児巡回支援専門員を構成員とする地域障害児巡回支援会議を３回(6月20日、8月27日、3月4日)実施するとともに、事業所職員向けに研修会を開催した。

１）障害児通所支援事業所への訪問、スーパーバイズ・コンサルテーション

内容	事業所数	訪問回数
障害児通所支援事業所への訪問、スーパーバイズ・コンサルテーション	53事業所	53回
柏市障害者虐待防止サポートチーム派遣事業により訪問、グループディスカッション	１事業所	１回

２）障害児通所支援事業所を対象とした研修会の主催（柏市こども発達センターとの共催）

実施日	講師	内容
令和７年１月 15 日	光真坊　浩史氏 （全国児童発達支援協議会）	５領域にかかわる発達段階に合わせた支援
令和７年１月 31 日 （柏市北部）	北村　大明氏 （柏市こども相談センター）	応用行動分析について、グループワーク
令和７年２月３日 （柏市中央）	北村　大明氏 （柏市こども相談センター）	応用行動分析について、グループワーク
令和７年２月 17 日 （柏市東部・南部）	北村　大明氏 （柏市こども相談センター）	応用行動分析について、グループワーク

（３）地域のインクルージョン推進の中核機能

柏市の委託事業「障害児等療育支援事業」や自法人の保育所等訪問支援事業、さらに研修会の主催、研修講師として、保育所等の職員に向けて、インクルージョン推進の意義や移行支援の目的・内容の説明等を行うことにより、地域におけるインクルージョンについての啓発活動を行った。

１）リトルペガサスによる保育所等訪問支援を通じたインクルージョン推進

	契約者数	訪問回数
保育所等訪問支援	76 人	193 回

２）リトルペガサス地域支援室による巡回支援によるインクルージョン推進

	訪問園	訪問回数
巡回支援	120 園	260 回

３）保育所・幼稚園・こども園における特別な支援を要する児判定調査

	訪問園	訪問回数
判定調査	75 園	448 人

４）保育所・幼稚園・こども園職員向けの研修会「発達の気になる幼児支援研修会」の主催

実施日	講師	内容
令和６年７月５日	今越　美香氏 （柏市こども発達センター）	子どもの行動を感覚統合の視点で理解する―作業療法士の立場から
令和６年 11 月１日	佐藤　友紀氏 （社会福祉法人　桐友学園）	発達の気になる子の理解と支援について―巡回支援の現場から

5）保育所・幼稚園・こども園職員向け研修会の講師

実施日	依頼者	内容
令和６年９月 12 日	Ａ幼稚園	個別対応が必要な子を含めたクラス運営－毎日の悩み・相談したい事
令和７年１月 24 日	柏市こども部学童保育課	困り感を持つ子どもたちへの理解と支援～発達障害の視点から～
令和７年２月７日	Ｂ保育園	発達障害について学ぶ～ことばの発達と大人のかかわりについて～

（4）地域の発達支援に関する入口としての相談機能

法人のホームページとは別に、リトルペガサス専用のホームページを開局し、地域の発達支援に関する入口としてホームページを通じた情報提供を始めた。

また、自法人の基幹相談支援センターと連携して、地域の障がい児の発達支援の無料の相談窓口を設置し、子どもの発達相談とともにご家族の相談に応えるため、令和 6 年 12 月に相談支援事業所｢リトルペガサス地域支援室｣を柏市中心部に引っ越した。

さらに、令和 6 年 2 月からは、柏市子ども・子育て支援複合施設「TeToTe」2 階に発達相談窓口を設置し、地域からの相談を幅広く受けられるよう取り組みを進めた。TeToTe 相談窓口では、窓口に来訪した際の簡単な情報提供や簡易的な電話相談を中心とする一次相談と予約制でのより詳細な面談となる二次相談どちらの相談形態にも対応していくよう取り組んでいる。

1）個人の相談

相談の内容	相談者	回数
ご自宅訪問相談	7 人	7 件
外来療育相談	98 人	98 件
TeToTe 発達相談（令和7年2月より）	13 人	14 件

2）保護者向け研修会の主催

実施日	講師	内容
令和 6 年 12 月 18 日	リトルペガサス地域支援室職員	ママとパパを応援する子育て勉強会「ことばの発達について」
令和 7 年 2 月 25 日	リトルペガサス地域支援室職員	ママとパパを応援する子育て勉強会「ことばの発達について」

３）保護者向け研修会の講師

実施日	依頼者	内容
令和７年１月 26 日	柏市しこだ児童センター	子育てミニ講座 「発達障害ってなに？　～疑似体験を通して～」

４．柏市のこども関係委員会への参画

氏名	役職	参加会議
松井　宏昭	理事長	柏市自立支援協議会会長
小塚　有規子	児童発達支援センター　リトルペガサス施設長	柏市自立支援協議会 こども部会委員
齋藤　菜実子	リトルペガサス地域支援室管理者	柏市自立支援協議会 相談支援部会委員
松井　宏昭	理事長	柏市要保護児童対策地域協議会 構成機関代表
小塚　有規子	児童発達支援センター　リトルペガサス施設長	柏市子ども・子育て会議委員

５．第三者評価

（１）評価者　　　向野　光氏（川村学園女子大学教育学部児童教育学科教授）

（２）評価実施日　令和６年１２月９日（月）及び１２月１３日（金）

（３）評価総括

・　リトルペガサスが、柏市の発達支援センターとして果たしている役割の重要性と先進性を感じる。社会福祉法人として多岐にわたる機能をもつことは予算の確保にも繋がる重要な視点である。予算があってこそ人材が確保され、組織が機能する。さらなる発展のためにもリトルペガサスがこれまで以上に行政の新しい施策を先取りし、事業所としての先進性を実績として発揮していって欲しい。

・　総合的な法人である青葉会の特性を活かしていくためにも、これまでのように関係する各施設での職員の専門性を高めていくと同時に、総合職的な職員、リーダーとなる職員の定期的な施設間の移動も必要であると考える。誰しも慣れた仕事、慣れた環境で仕事を進めることを好むが、これまでの自分にない視点をもつため、自分では気づかない資質の発掘には新たな環境が重要である。会全体のサービスの向上のためにも全体を俯瞰する将来的な職員の人事を管理・統括する部署も考えて行く必要があると考える。